

ともえ



函館商工会議所
創立
100周年



本所において開催された新入社員セミナーより

No. 162

函館商工会議所報
1995 — 4月号

のびゆく地元のお手伝い……

ゆたかな夢を大きく育てる。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL 22 -1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42 -3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23 -6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51 -1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41 -6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL 73 -2151(代)
五稜郷支店	函館市本町30番24号	TEL 52 -0511(代)	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL 84 -2111(代)
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL 26 -3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65 -2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51 -5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57 -1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53 -5521(代)			

Lhくみのローン

手続カンタン
スピード融資

目的ローン

マイカーローン

ビジネス・オートローン

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。



・コミュニティバンク・

函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎(代)23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572(代)
- 上磯支店 ☎73-2308(代)
- 美原支店 ☎46-9121(代)
- 十字街支店 ☎26-5544(代)
- 花園支店 ☎55-2110(代)
- 富岡支店 ☎43-1311(代)

●ともえ4月号(通巻102号) 目次

今月の表紙／視点…………… 2～7
 会議所の動き…………… 1
 ・平成七年度事業計画・収支予算決まる
 ・本所部会幹事会・委員会活発に開催
 ・函館圏優良土産品推奨会開催
 ・道内各空港の整備促進に向け関係省庁へ
 強力な陳情
 ・第四回振興委員連絡会議開催
 ・セミナー、説明会が活発に開催
 データをチエック…………… 8
 調査レポート…………… 8～11
 ・地域の景気 金融経済概況(二月)
 ・市内第一種大規模小売店舗売上高(二月)
 ・平成五年 工業統計調査結果概要
 共済推進コーナー…………… 12
 ティータイム…………… 13
 ・暮らしのワンポイント
 ・アイ・ラブゆうちゃん
 ・有段を旨指して 詰碁・詰将棋
 アドバイスコーナー…………… 14～15
 ・生前贈与と相続対策(最終回)
 Q & A…………… 16～17
 ・みんなの相談室 税務相談
 労働相談
 ご案内…………… 18～20
 ・新会員ご紹介
 ・会員サービス事業のお知らせ
 ・本所会員証のお知らせ
 ・検定試験のお知らせ
 ・中高年齢労働者等受講奨励金制度のご案内



◇今月の表紙
 期待と夢を膨らませる七十六名のフレッシュマンたち。(本所において開催された新入社員セミナーより)

お詫びと訂正
 前号の今月の表紙に、次の通り誤りがあり、関係各位に大変ご迷惑をおかけ致しました。
 ここに、お詫び申し上げますとともに次のように訂正させていただきます。
 (正) 共栄運輸(株)の発注により

視点

各地でさくらの便りが聞かれ、春の訪れが確実に来ているようだ。

ゆるやかな上昇が続くと思われていたわが国の経済は阪神大震災、急激な円高、株価の急落、規制緩和と大きな逆風が吹き、何か様子がおかしくなってきたのではないだろうか。

これからの動きに注目していきたい。
 去る、三月二十七日平成七年度第一回通常議員総会が開催され、事業計画、予算が承認されました。

具体的には、地域振興対策、商工業の振興、会議所運営の充実強化、それと本年九月で創立一〇〇周年を記念しての各種事業、経済センター構想の推進を図って行くこととなりました。

中でも、会員の皆様方との連携をより一層緊密にするための事業を行うことにいたしました。

現在発行しております「ともえ」による広報活動はもとより、今年度から新たに「会員之章」の発行やファックス通信による、より速い確かな情報をお届けしようと考えています。したがって、現在の「ともえ」の編集内容についても見直しをし、従前よりご指摘のあった読みやすく、目次も大きくするなど、多くの会員に読んでいただけるような内容にして行きたいと思っております。また、この視点につきましても見直しをしたいと思います。ぜひ、ご期待ください。



▲開会挨拶を行う松本会頭

会 議 所 の 動 き

平成七年度 事業計画・収支予算決まる

本所第一回総務委員会、第二回常議員会、並びに第一回通常議員総会は、去る三月三日、三月十五日、及び三月二十七日それぞれ本所会議室において開催されました。

まず、第二回常議員会では、常議員等二十七人が出席し、第一回総務委員会において審議、了承された本所平成七年度の事業計画並びに収支予算等を審議し、原案通り通常議員総会に提出することとしたほか、育児休業法の施行に伴う就業規則の一部改正と新会員の加入について、それぞれ議決しました。

次に、第一回通常議員総会は、六十三人（うち委任状出席三十人）が出席し、開催されました。

総会では、松本会頭の開会挨拶の後、議事に入り、報告事項に引き続き附議事項の五議案を審議し、いずれも原案通り決定しました。その概要は次のとおりです。

▼平成七年度事業計画大綱

1 総合交通ネットワークの整備促進

2 国・道・市等の諸計画の推進

3 小規模企業・中小企業対策の強化

4 国際化・情報化の推進

5 住みやすく活力と潤いのある街づくり・人づくりの推進

を中心に、函館市等との連携を保ちつつ、諸施策、諸事業を積極的に推し進め、函館経済の活力増進そして拡大充実を図るとともに、道南地域の各経済団体並びに北海道、特に青森などとの連携を深め、札幌圏、仙台圏の中間に第四次全国総合開発計画に示された北日本第三の経済文化圏、いわゆる青森インターブロック交流圏を確立し、第二国土軸の形成に向けて努力を重ねていくことになりました。

また、函館商工会議所は、本年九月に創立一〇〇周年を迎えます

が、北海道で最も早く創立された商工会議所として、意義ある式典を始め、各種事業を実施し、その榮譽を永く後世に伝えていくこととしました。

▼平成七年度事業計画

Ⅰ地域振興対策

1 東北新幹線の早期完成、北海道新幹線の早期着工と青森・函館間の同時開業

2 幹線道路の整備促進

・北海道縦貫自動車道の函館側からの工事着手

・高規格幹線道路 函館・木古内間の早期完成

・新外環状線の早期建設

3 函館港の整備促進

・大型公共埠頭の早期建設

・ウォーターフロント地区の早期整備

・客船埠頭計画の促進

・コンテナヤード計画の促進

4 函館空港の整備充実

・滑走路三千メートル工事の早期完成

・CIQ体制の充実と国際定期路線の新増設

- ・国内航空路線網の充実
- ・空港ターミナル地区の拡張整備
- 5 青函インターブロック交流圏構想の推進
- 6 テクノポリス函館計画及びテレトピア計画に基づく事業の推進
- 7 函館駅周辺地区再開発などの事業の推進
- 8 大規模イベント施設の調査研究
- 9 国立函館大学などの設置促進及び技術教育の拡充整備
- 10 道立工業技術センターの活用による技術水準の向上と新技術の開発
- 11 土地利用など都市計画の見直し並びに地場工業団地の早期拡充、企業誘致の促進
- 12 国際交流活動の推進
- ・サハリンとの経済交流の調査研究
- ・姉妹都市などとの経済交流の推進

II 商工業の振興

- 1 関連する税制並びに法規等の調査研究及び活用

- 2 中小企業振興対策
 - ・地場産業の振興と技術向上対策の推進
 - ・中小企業の近代化、高度化対策の推進と各種融資制度の活用促進
 - ・函館地域特定中小企業集積活性化計画などの推進
 - ・小売商業振興ビジョンによる振興策の推進
 - ・商業活動に対する適性な調整
 - ・中小企業の新分野への進出支援
 - ・諸刊行物による経済情報の提供及び収集並びに魅力ある地元企業の紹介
 - ・高齢者雇用対策の推進
 - 3 小規模事業対策
 - ・相談指導体制の充実強化
 - ・講習会、講演会開催等による小規模企業育成、強化策の推進
 - ・小企業等経営改善資金など融資制度の充実
 - ・経営安定化のための各種制度及び施策の普及促進等
 - 4 観光振興対策
 - ・新函館市観光基本計画の推進

- ・観光資源、観光基盤の整備促進
- ・観光通年化対策などによる観光客増加対策の推進と受入れ体制の充実強化
- ・広域観光圏確立のための関係団体との協調体制の拡大推進
- ・各種行催事への積極的参加及び観光土産品等の開発
- ・コンベンションビューローの調査研究
- 5 青森、鹿児島両商工会議所並びに道南各経済団体との提携強化
- 6 亀田、銭亀沢両商工会と経済団体統一に向けての協議推進

III 函館商工会議所運営の充実強化

- 1 創立一〇〇周年記念事業の実施
- 2 部会、委員会活動等の活発化
- 3 会員サービス事業の充実強化と新会員の募集及び口数の拡大
- 4 生命、退職金、個人年金共済等各種共済事業への加入拡大促進
- 5 会議所報「ともえ」の効率的活用

6 経済センタービル建設構想の推進

▼平成七年度収支予算

平成七年度の事業計画を推進するための収支予算は総額三億三千七百六十万円と決定しましたが、このうち事業費は六千八百九十七万円、また、創立一〇〇周年記念事業費としては、七千二百四十七万円、活発な事業展開が期待されています。

▼運営資金借入限度額について

運営資金借入限度額については、前年同様、三千万円とすることが承認されました。

▼常議員一名の補充選任について

欠員となっていた常議員に北海道旅客鉄道㈱取締役函館支社長の小島正克氏が選任されました。

▼委員会の名称変更について

創立百年記念事業実行委員会を創立一〇〇周年記念事業実行委員会とすることが承認されました。

新年度に向け！ 本所部会幹事会・委員会活発に開催

本所部会・委員会が、それぞれ次のおり開催され、活発な意見交換がなされました。

○観光サービス部会幹事会

△三月二十九日開催▽
平成七年度函館市の観光関係予算の概要について、函館市商工観光部岩船部長を招き、説明を受けました。

その中で、七年度からは観光客誘致の主軸を夏季から冬季へ移行、メディアを有効に活用しての宣伝強化などに取り組んでいくとの発言がありました。

また、新規事業としては、当市に縁のある方々を「函館観光大使」として任命すること、JR山手線車両内での文字放送による宣伝のほか、冬季観光サービスガイドブックの作成等の説明がありました。その後、懇談会に入り出席幹事との活発な意見交換が行われ、観光シーズンに向け、官民一体とな

って各種事業を推進して行くことを確認し終了いたしました。

○情報対策委員会

△三月三日開催▽
近年、企業経営やマーケティング、証券、金融などの各種分野ではオンラインによる「データベース」の蓄積が盛んに行なわれ、顧客のニーズに対応した、付加価値の高い情報が多目的に利用出来るようになっております。

このような「データベース」を関連企業が、全国的に利用、普及を図っているとことから、本所では、北海道データベース振興協議会と共催により、「データベース入門セミナー」を（株）エス・イー・シーの七階会議室で開催しました。

当日は、午前中に道通産局の下館機械情報産業課長と、札幌大学の星教授による講義があり午後からは各種データの検索実習が行

なわれました。

四十九名の参加者は、それぞれのグループに分れて熱心に、新聞記事や書籍、科学情報等について検索実習を行い盛会裡に終了致しました。

○青函圏委員会青函合同会議

△三月七日開催▽

本所からは小笠原副会頭・柳沢委員長はじめ十三名の委員が、また青森商工会議所からは田中副会頭はじめ六名の委員が出席し、ホテル函館ロイヤルにおいて開催されました。

会議では、①国際定期便開設に伴う両商工会議所の取り組み、②青函圏委員会の今後の活動および交流を議題として行われました。

その中で、函館からは昨年四月に開設されたユジノ便の経過、青森からは今月運航されたソウル便・ハバロフスク便の見通し、両空港のチャーター便の運航実績や、本委員会のこれまでの活動を基に活発な意見交換が行われました。

その結果、国際定期便については、利用者確保に向けて青函双方が今後更に協力し合うことが確認

されたほか、委員会活動についても、あらゆる機会を利用し様々なレベルでの交流や情報の交換等を続けていくこととなりました。

○サハリン特別委員会

△三月二十八日開催▽

(1)サハリン大陸棚石油・天然ガスプロジェクトの進捗状況、(2)平成七年度事業計画等について意見交換を行いました。

サハリンの資源開発プロジェクトは、ここ一二年のうちに開発準備作業が着手されることが予想されています。特にサハリンIIについては、開発主体企業の本部機構が置かれる見込のシンガポールとサハリンとの中間に位置する当市が、サハリン州と唯一の国際定期便を有していることもあり、プロジェクトの物流の兵たん基地として、その役割を担うための調査・研究が急務となっています。

会議では、官民一体となったワーキンググループの必要性が提起され、協議の結果、新年度早々にもこの組織を発足することを確認、当委員会として積極的に取り組んでいくこととしました。

第39回函館圏優良土産品推奨会受賞商品一覧

賞名	品名	企業名
函館市長賞	数の子大王 カマンベールチーズケーキ	(株)竹田食品 第一食品
函館商工会議所会頭賞	船頭沖濱 高級チョコレート石の道	(株)布目軒 (株)精養軒
みなみ北海道地区観光土産 公正取引協議会会長賞	イクラ入金の漬 マールメロの詩	久野村水産(株) 二子野水野屋
みなみ北海道広域商工振興 連絡協議会会長賞	紅鮭かつら巻 孝行餅	三洋食品(株) 末廣庵
奨励賞	北さしのみのおっか 北い海一本夜干セ 箱す道みバター絵 キヤンドルス	(株)本店目店 (株)不布二屋本 (株)渡渡辺商野 (株)菜子司水野製 末廣堂富田製菓 おおぼ

優秀作中十四品に各賞を授与
函館圏優良土産品推奨会開催

本格的な観光シーズンを前に、道南地域を代表する優れた観光土産品を、発掘、育成すると共に、当地域を訪れる観光客に「より良い安心のもてる商品」を提供する

ため、去る三月二十三日、「第三十九回函館圏優良土産品推奨会」が本所において開催され、農水産菓子、民芸の各部門へ、道南の企業十五社より、七十二点の出品がありました。

道内各空港の整備促進に向け！
関係省庁へ強力な陳情

去る三月十六、十七日の両日、北海道商工会議所連合会（伊藤義郎会頭）では、平成八年度を初年度とする第七次空港整備五カ年計画の策定にあたり道内各空港の整備について、運輸省、北海道開発庁へ陳情を行い、本所からは松本会頭が参加しました。

広大な北海道にとって航空路の果たす役害は大変重要であり、新計画の策定にあたって貨客の増大

過大包装、不当表示、表示義務等を厳正に審査した結果、違反商品がなかったことから、引き続きこれらに民芸品を加え、郷土色、包装デザイン、価格、味覚等の審査が行われ、出品商品すべてが「函館圏優良土産品」に選定されました。

この中から特に優れた次の十四商品に対して、函館市長賞、商工会議所会頭賞などが授与されました。

に対応した機材の大型化の推進、濃霧や積雪・横風などに対する安全対策、ターミナル施設の整備等の道内各空港の抱えている課題を早期に解決することが必要となっています。

この中で、本所としては函館空港の滑走路三千メートルへの延長工事の早期完成とターミナル地区の整備充実について要望をしております。

第四回
振興委員連絡会議開催

平成六年度第四回振興委員連絡会議が、去る三月二十日午後三時より本所会議室において開催されました。

当日は、本所一〇〇周年記念事業の概要について日野所長より説明の後、各記念事業に対する協力・支援方について要請がありました。

引き続き事務局より、本年二月末までの金融取扱実績及び、三月十五日で終了した平成六年分納税相談にかかる指導実績について、夫々説明がなされました。

また、賃金改訂の時期を迎えていることから、振興課堀内主任より本所にて調査を行っている「函館市における賃金指標」をベースに、具体的活用方法について説明がなされました。

さらに、本年七月一日より施行される「PL法」に対応してスタートする「中小企業PL保険制度」の概要及び、カウボーイ上磯店を含めた大型店の動向につき事務局より夫々説明がなされました。

本所主催等による
セミナー、説明会が活発に開催

本所では、セミナー、説明会等が、それぞれ次のとおり活発に開催されました。

○独占禁止法・景品表示法説明会

△三月八日開催▽

みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会並びに本所主催による「独占禁止法・景品表示法説明会」が、五島軒駅前店において、公正取引委員会道事務所より山林取引課長、斎藤経済係長を講師に招き開催されました。

この中で、独占禁止法・景品表示法の具体的な規制内容や違反事例について、また最近の経済市場の国際化等から独占禁止法の役割は増大しており、公正取引委員会としては、法運用の透明性を高め、PRを推進していく旨の説明がなされました。

○経営安定特別セミナー「貸倒れ防止と債権回収実務講座」

△三月十日開催▽

当日は、弁護士富岡公治氏を講師に招き、五島軒駅前店会議室

において、約百名の方が参加し、開催されました。

セミナーでは、昨今の厳しい経済環境を反映して、緊急時の債権保全と回収について、取引先との契約の結び方、回収が危ぶまれるときの措置、回収をすすめるに当たっての基本的な心構え等についての具体的な事例をもとにした説明がなされ、参加者は、終始、熱心に聞き入っていました。

○貿易実務入門講座

△三月十六日、十七日開催▽

輸出入取引の基礎知識を模擬取引の経験学習から学ぶ「貿易実務研修会Ⅱ入門コース」が、本所、北海道経済国際化推進会議、函館市の共催により開催されました。

講師には、北海道貿易コンサルタントで、貿易実務の第一人者である早坂秀男氏をお招きし、英文ビジネスレターの正しい書き方、取引先の発見方法・選定の仕方など輸出入取引に必要な予備知識を学んだ後、仮定模擬取引をもとに、

実際に注文書や輸入の見積り計算を行うという実践方式の内容で、参加者からは講座の継続希望が出るなど、盛会裡に終了しました。

○新入社員セミナー

△三月二十二日開催▽

本所主催による新入社員セミナーが、日本マネージメント・リサーチ(東京)専任講師の藤沼悦子さんを招き開催されました。

セミナーには今春社会人となる新入社員の皆さんを中心に、三一企業から七十五名が参加、あいさつや言葉遣いなどの基本的なマナーにはじまり、名刺交換、電話応対などのルール、さらに社会人としての考え方、心構えについて熱心に聞き入っていました。

○「商法改正と最低資本金制、

税制改正への対応策」

△三月二十九日開催▽

平成三年四月の商法改正により株式会社、有限会社の最低資本金がそれぞれ一千万円、三百万円に改正されました。本所では従来より改正の周知徹底と、対応策の指導に努めてまいりましたが、既存会社における増資の最終期限があ

とわずか(平成八年三月三十一日)に迫ったことから、同セミナーが開催されました。

セミナーでは税理士の柴田文磨氏(東京)より、増資あるいは組織変更する場合のバターンと留意点、メリット、デメリットなどについて、実際の例をあげながらの説明があり、またこれに対して参加者からの質問が相次ぐなど、熱のこもったセミナーとなりました。

○一般会員対象PR保険制度説明会

△四月三日開催▽

本年七月一日から製造物責任法が施行されることになりました。この法律に伴い「請負業務上の欠陥」、「流通・販売上の欠陥」等も厳しい追求を受けると考えられることから、製造業のみならず、すべての事業者が対応と防衛のための方策を検討する必要があるとあり、また中小企業にとっては死活問題となりかねません。そこでこのPL法のあらましと対応策の切り札として創設された「中小企業PL保険制度」についての説明会が、本所において開催され、会員の皆様多数が参加されました。



事務局日誌

3月

*正副会頭会議

- 10(金) 第12回正副会頭会議
- 27(月) 第13回正副会頭会議

*総会

- 27(月) 第1回通常議員総会

*常議員会

- 15(水) 第2回常議員会

*部会

- 29(水) 観光サービス部会幹事会

*委員会

- 3(金) 情報対策委員会 第4回データベース入門セミナー
- 〃 総務委員会
- 7(火) 青森・函館両商工会議所青函園委員会合同会議
- 28(火) サハリン特別委員会

*会議(日商)

- 16(水) 第435回常議員会
- 〃 第133回議員総会
- 〃 第81回通常会員総会

*会議(道商連)

- 6(月) 第33回運営委員会
- 〃 正副会頭会議
- 〃 第118回常議員会
- 〃 第126回通常会員総会
- 15(水) 正副会頭懇談会
- 17(金) 「商工会議所P.L.団体保険制度」ブロック説明会
- 22(水) 「全国商工会議所共済会退職共済制度」ブロック説明会

*審査会

- 22(水) 第13回小企業等経営改善資金審査会

*諸会議

- 1(水) 創立100周年事業 生涯学習国際シンポジウム開催打合せ
- 〃 '95春季生活闘争、地方統一選挙勝利函館地区総決起大会
- モテル貸金説明会
- 〃 函館圏情報拠点都市地域研究会合同部会
- 〃 平成7年度汚染負荷量賦課企業務委任商工会議所担当研修会
- 2(木) 北東公庫第2回地域開発フォーラム
- 6(月) 函館港まつり実行委員会
- 7(火) 北海道管区行政監察局函館行政監分行政懇談会
- 8(水) 箱館五稜郭祭実行委員会
- 9(木) 函館ソフトウェア専門学校第10回運営委員会
- 〃 コンベンションビューロー打合せ会議
- 14(水) 北海道高年齢者雇用促進協議会
- 15(水) 本所婦人会3月例会
- 〃 函館販売士協会役員会
- 16(木) はこだて冬のイベント実行委員会第2回資金造成部会
- 〃 65歳継続雇用地域推進事業高年齢者雇用に係る先進県視察会
- 〃 日本商工連盟第15回理事会
- 〃 平成7年度入所内定者事務打合せ
- 17(金) はこだて冬のイベント実行委員会事業部会
- 20(月) 第2回函館地域技能振興推進協議会
- 〃 平成6年度第4回振興委員連絡会議
- 22(水) 第2回お茶の会
- 23(木) 北東公庫北海道支店北海道地域設備投資計画調査結果報告会
- 〃 国民金融公庫第9回連絡懇談会
- 〃 第1回渡島広域圏地域経済基盤強化対策推進委員会
- 24(金) 第23回函館地域電力懇談会
- 28(火) 函館特産食品工業協組いか処理機械試作報告会
- 〃 P.L.法団体保険打合せ会議
- 〃 働テクノポリス函館技術振興協会平成6年度第3回理事会
- 〃 第7回函館アコムコミュニティ構想協議会
- 〃 「'95はこだて花と緑のフェスティバル」第2回実行委員会
- 〃 函水協パッケージデザイン開発研究発表会
- 29(水) 平成7年第1回函館市西部地区歴史的町並み資金運営委員会

- 〃 北海道新幹線建設促進期成会平成6年第5回幹事会
- 〃 函館圏地方拠点都市地域整備推進協議会
- 〃 平成6年分納税相談反省会
- 30(木) 平成7年度春期情報処理技術者試験実施に係わる会場責任者会議
- 〃 北海道テクノポリス検討協議会平成6年度第2回会議
- 〃 平成6年度第2回はこだて冬のイベント実行委員会
- 31(金) 函館圏情報拠点都市地域研究会総会

*講習・催物

- 8(水) 独占禁止法、景品表示法説明会
- 〃 経営相談
- 9(木) 第4回「沖繩の物産と観光展」(～3/14)
- 10(金) 経営安定特別セミナー「貸倒れ防止と債収回収」
- 15(水) 発明相談
- 16(木) 貿易実務研修会(～3/17)
- 22(水) 「青森・函館ツインシティ物産と観光展、青森函館うまいものめぐり」(～3/28)
- 〃 新入社員セミナー
- 23(水) 第39回函館圏優良土産品推奨会
- 24(金) 法律相談
- 29(水) 「商法改正と最低資本金利税利改正への対応策」セミナー
- 30(木) 函館電信電話ユーザ協会経済講演「伸びる企業はここが違う」

*刊行物

- 10(金) 所報「ともえ」3月号 No.161

*相談・診断

金融	50	税務	302	経理	0	経営	48
労働	2	取引	1	その他	1	合計	404

*貸室

12

*文書

受信 224 発信 24

*陳情・要望

- 16(水) 道内空港の整備促進に関する要望

- 17(金) 道内空港の整備促進に関する要望活動

- 23(水) 情報処理技術者試験地元開催中央陳情

*慶弔・その他

- 3(金) 函館ソフトウェア専門学校卒業式
- 4(土) 東京商工会議所会員大会
- 7(火) アエロフロード・ロシア国際航空L.N.パイコフ日本地区営業本部長他表敬訪問
- 8(水) 北海道総務部文書課行政情報センター木元正査他来所
- 10(金) ホームセンタージャンボイエロー金堀店竣工移住式
- 〃 在札幌 国総領事館デニス・オートブラッド総領事他表敬訪問
- 14(水) NHKラジオセンター「ふるさと産業情報」電話取材
- 16(木) 函館大学第27回卒業式
- 〃 函館大学卒業記念パーティ
- 〃 北海道議会議員さくらい外治激励会
- 17(金) おんじき会親睦チャリティーパーティ
- 20(月) サハリン州行政政府国際対外経済国際局ルカウエツ局長表敬訪問
- 23(水) 北電社長との夕食懇談会
- 〃 N.T.T.ドコモ(株)保代表取締役表敬訪問
- 24(金) 第28普通科連隊長兼函館駐屯地司令西山洋氏を送る会
- 27(月) 日本銀行木村新函館支店長表敬訪問
- 28(火) 潮風の川プリンスホテル増改修工事地鎮祭
- 29(水) 北海道セルラー電話千石函館支店長就任挨拶
- 〃 防衛庁自衛隊函館地方連絡部西山副部長退職挨拶
- 30(木) 函館空港事務所所井沢空港長転任挨拶
- 〃 (株)生命保険協会函館事務室赤沼事務局長代行新任挨拶
- 〃 北海道運輸局中井函館海運支局長転任挨拶
- 〃 函館職業能力開発促進センター中沢所長転任挨拶
- 〃 函館公共職業安定所志村所長退任挨拶、長岡雇用開発部長転任挨拶
- 31(金) 北海道議会議員川尻秀之後援会出陣式
- 〃 北海道議会議員島山博後援会出陣式
- 〃 北海道議会議員桜井外治後援会出陣式
- 〃 函館市写真歴史館オープニングセレモニー
- 〃 平野デザイン設計大木氏、篠原氏来所

加工食品向けを中心に総じて低調であったことから前年を下回った。また、合板は、阪神大震災の仮設住宅向け復旧需要もあり、需給環境は好転しつつあるが、在庫が適正量を大幅に上回っているため、なお抑制的な生産を続けている。漁網は、需要の低迷を背景に減産体制を維持している。

(4) 建設関連

2月の管内公共工事請負額は、10月以降5か月連続して前年比マイナス82.8%と前年を下回るなど頭打ち傾向を示している。もっとも、6年度累計（4月～7/2月）では高水準であった前年度を幾分下回る水準を維持している。また、函館市および周辺3町の新設住宅着工戸数（2月）は、持家、分譲の伸びを主因に全体では前年比プラス40.9%と前年を大幅に上回った。この間、建設業者は、公共工事を中心に繁忙感を継続しているが、北海道南西沖地震にかかる災害復旧工事の進捗から受注残は減少しつつある。

(5) 漁業

盛漁期入りした噴火湾ホタテ漁は、引合いの強い小型サイズを中心に順調な水揚げとなっている。

(6) 消費関連

2月の市内大型小売店の売上高は、2か月連続して前年比マイナス0.1%と前年を下回ったが、中旬以降の来店客数増加に伴い衣料品を中心に売上が持直したほか、営業日数が前年に比べ増加したことから、マイナス幅は

前月に比べ縮小した。耐久消費財では、家電販売が、パソコン等情報家電を主体として好調を継続した。また、新車登録台数は、RV車の好調持続に加え、割安な新型車投入の効果もみられたため、前年比プラス18.6%と全体でも大幅な伸びを示した。この間、観光・レジャー面をみると、阪神大震災の影響もあって関西方面を中心とした団体客の入込みが減少したため、2月の市内主要ホテルの宿泊客数が2か月連続して前年を下回ったほか、観光施設の利用客数も前年に比べ減少した。また、3月入り後についても総じて盛上りを欠いた推移となっている。

3.金融事情(2月中)

実質預金をみると、法人預金は月末決済資金の支払いが嵩んだものの、定期性を中心に個人預金の受入れが増加したため、月末残高は前年比プラス2.4%と引続き堅調に推移した。また貸出は、資金需要に明確な回復感はないものの、一部で小ロットの設備資金がみられたこと等から、月末残高は3か月連続で前年比プラス1.7%、月中44億円増と前年を上回った。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、長期、短期金利とも低下したため、全体では月中マイナス0.018%と2か月振りの低下となった。

銀行券は、月中16億円の発行超とほぼ前年並み。

財政収支は、保険の受入れ増加や公共事業の支払い減少等を背景に、月中16億円の受超と前年の1億円受超を上回った。

データをチェック!

都道府県別の児童数と小学校教育

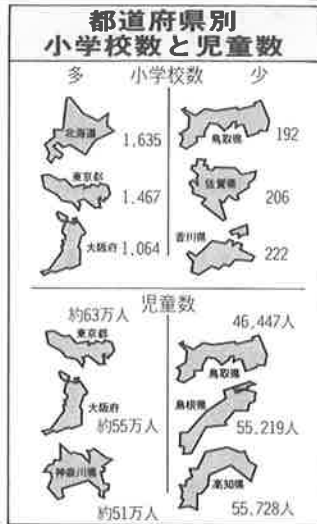
～1校当りの児童数は神奈川県が最高～

平成6年、全国の小学校の児童数は約.858万人、学校数は24,635校に上ります。1校当たりの平均児童数は、348人です。

では、児童数や学校数を都道府県別でみると、どれくらい差があるのでしょうか。まず児童数は、東京都の634,356人が最も多く、大阪府、神奈川県など、都市圏が多くなっています。逆に、最も少ない県は鳥取県の46,447人—東京都と比較すると、約14倍もの差があります。さらに、教員数や学校数も、東京都や大阪府、北海道など、都市圏が多くなっています。

これを、1校当たりの児童数でみると、神奈川県が1番多く574人、次いで埼玉県で、平均を約200人も上回っています。また、1校当たりの教員数も、神奈川県の24.8人をはじめ、大阪府、埼玉県が上位に挙げられます。

このデータから、神奈川県や埼玉県のような都市圏の小学校は、平均的に児童数の多いマンモス学校、であることが分かります。





1. 概 況

管内経済をみると、住宅投資が引続き堅調に推移しているほか、公共投資もなお高水準を維持している。また、個人消費も基調としては改善傾向にあり、景気全体は緩やかに回復している。こうした中、阪神大震災の影響が物流や観光にみられ始めており、さらに2月央以降の円高の進行が企業マインド面に影響を及ぼしつつある。

すなわち製造業では、水晶発振器が携帯電話など移動体通信機器の需要増を反映して、またセメントも外需、官公需向けの好調を主因に、いずれもフル生産を継続している。半導体はパソコン向けの好調等から主力の4MDRAM、マイコンを中心にほぼフル生産体制となっている。合板機械、漁業機械も引続き高操業を維持している。この間、造船は修繕船部門、新造船部門がフル生産となっているが、橋梁部門は年度末としてはやや低めの操業に止まっている。一方、水産加工品の売上は、生鮮珍味は堅調ながら、乾燥珍味が低調に推移したことから全体では4か月振りに前年を下回った。また、水産加工機械の売上は依然低迷を余儀なくされている。

非製造業では、2月の市内大型小売店の売上は、2か月連続して前年を下回ったが、中旬以降は来店客数が増加したこともあってマイナス幅は前月に比べ縮小した。また、家電販売は、パソコン等情報家電を中心に好調に推移している。2月の新車登録台数は、普通車、小型車とも前年を上回り大幅な伸びを示した。この間、市内の観光動向をみると、阪神大震災の影響もあって、関西方面を中心とした団体客の入込みが減少しており、宿泊施設、観光施設とも利用客数が前年を下回った。

漁業では、噴火湾ホタテ漁は、盛漁期に入り引続き順調な水揚げとなっている。

2月に実施した短期経済観測調査結果における管内企業の業況判断をみると、製造業では改善傾向が続いているものの、非製造業が震災後の消費一服等から悪化したため、全体として6/2月調査以来続いてきた改善の動

きは足許一服している。

この間、当地主要企業37社の4～6月生産計画によると、電子部品、生コン等が前期(1～3月)同様フル生産または高操業を継続することに加えて、乾燥珍味などで需要の下止まりを見込んで減産の緩和を計画していることから、3期連続で前年を上回る見通し。

2月の金融動向をみると、預金は一般預金を中心に引続き堅調な推移となった。また貸出も、全般的な資金需要は依然として不冴々な状況が続いているものの、月末残高では3か月連続で小幅ながら前年を上回って推移した。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は僅かに低下した。

2. 主要業種別動向

(1) 機械、電子部品

水晶発振器は携帯電話など移動体通信機器の国内外における需要拡大を反映して、下請を含めフル生産を継続している。半導体もパソコン向け需要の好調に加え、ゲーム機向け等非パソコン向けの需要増加もあり、主力の4MDRAM、マイコンを中心にほぼフル生産の状況にあり、これらの業種では、残業増や臨時工の増員等に対応している。また、合板機械は針葉樹対応機械など豊富な受注残の消化から、漁業機械はイカ釣り船向けの需要から、いずれも高操業を続けている。造船は、官庁船需要が好調な修繕船部門や新造船部門がフル操業にある一方、橋梁部門では繁忙期である年度末としてはやや低目の生産に止まっている。また、製缶機械は、新規受注が下止まり傾向にあるため、低水準ながら操業度を上げている。一方、水産加工機械の売上は、中小水産加工業者の設備投資抑制姿勢に変化が窺われないため、依然低調に推移している。

(2) 食 料 品

水産加工品では、生鮮珍味は惣菜向け低価格品を中心に順調な売上を続けているが、乾燥珍味の売上が末端需要の不振に伴い減少したため、全体の売上は4か月振りに前年を下回った。もっとも、乾燥珍味の受注は、これまでの減産により流通在庫が減少したため幾分持ち直している。また、3月入り後については、生鮮珍味の受注が引続き順調なほか、乾燥珍味においても、下旬以降、春の行楽需要がみられつつある。この間、魚油は国内外における油脂需要の高まりから割安感のある魚油の需要は強まっており、順調な売上となっている。

(3) その他製造業

セメントは、東南アジアを中心とした外需の好調に加え、官公需の堅調持続もあってフル生産を継続している。また、生コンも奥尻島での防潮堤建設など災害復旧関連工事向けを中心に前年を大幅に上回る出荷が続いている。一方、段ボールの生産は、主力の青果物、

函館市産業中分類前年比較表（従業者4人以上）

（単位：人、万円、%）

	事業所数			従業者数			製造品出荷額等		
	4年	5年	前年比	4年	5年	前年比	4年	5年	前年比
総 数	598	584	97.7	13,703	13,767	100.6	29,335,565	29,282,602	99.8
食 料 品 製 造 業	216	215	99.5	6,638	6,752	101.7	11,771,084	11,381,812	96.7
飲料・飼料・たばこ製造業	12	12	100.0	396	356	89.9	7,031,664	7,644,138	108.7
織 維 工 業	17	14	82.4	378	265	70.1	379,268	303,103	79.9
衣服・その他の繊維製品製造業	15	15	100.0	208	282	135.6	90,602	111,022	122.5
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業	19	18	94.7	412	412	100.0	851,377	884,432	103.9
家具・装備品製造業	40	38	95.0	322	312	96.9	360,069	332,257	92.3
パルプ・紙・紙加工品製造業	10	10	100.0	167	177	106.0	452,346	435,341	96.2
出版・印刷・関連産業	71	69	97.2	899	853	94.9	1,448,834	1,425,088	98.4
* 化 学 工 業	7	7	100.0	203	205	101.0	597,810	610,861	102.2
* 石油製品・石炭製品製造業	1	1	100.0	X	X	X	X	X	X
プラスチック製品製造業	4	4	100.0	71	68	95.8	186,179	155,473	83.5
ゴ ム 製 品 製 造 業	5	5	100.0	166	173	104.2	114,894	59,317	51.6
なめし革・同製品・毛皮製造業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
* 窯業・土石製品製造業	16	15	93.8	227	217	95.6	364,006	370,016	101.7
* 鉄 鋼 業	7	9	128.6	170	190	111.8	340,206	331,660	97.5
* 非 鉄 金 属 製 造 業	2	2	100.0	X	X	X	X	X	X
* 金 属 製 品 製 造 業	55	53	96.4	631	561	88.9	1,072,057	884,744	82.5
* 一 般 機 械 器 具 製 造 業	48	37	77.1	727	661	90.9	1,259,687	1,102,522	87.5
* 電 気 機 械 器 具 製 造 業	11	14	127.3	846	1,065	125.9	740,160	890,631	120.3
* 輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	16	20	125.0	1,010	1,042	103.2	2,015,222	2,138,715	106.1
* 精 密 機 械 器 具 製 造 業	4	3	75.0	66	27	40.9	73,086	31,392	43.0
そ の 他 の 製 品 製 造 業	22	23	104.5	147	150	102.0	161,257	167,059	103.6

注) 表中の記号「-」は該当数字がないもの、「X」は数字が秘匿されているもの。

函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

平成7年2月

品 名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣 料 品	2,127,346	66.7	98.8
身 の 回 り 品	506,832	65.5	92.4
雑 貨	722,355	96.2	98.5
家 庭 用 品	479,118	78.9	91.9
食 料 品	1,657,677	100.0	97.4
食 堂 ・ 喫 茶	125,707	72.1	95.6
サ ー ビ ス	63,094	96.4	102.1
そ の 他	361,598	62.7	99.8
総 計	6,043,727	77.5	97.3

<10店>棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、
テオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店

統計資料